



## 2024-25年度 地区職業奉仕委員会

# 運営方針・事業計画について

国際ロータリー 第2570地区 職業奉仕委員会  
2024-25年度 委員長 小高 章 (川越RC)



## 職業奉仕について

2020-21年度 ガバナー 相原 茂吉

職業奉仕の理念はあくまで理念すなわち「概念的」なものであります。「三方よし」にしても、「論語と算盤」にしても理念であります。日本人が大切にしているいわゆる「心」の問題であり、だからこそ日本人にとってロータリー活動において職業奉仕は最も重要な位置づけとなりました。

一方、アメリカで発生したプラグマティズム（実践主義）は、現在のRIの行動指針の基本であり、概念よりも「具体的に目にみえる奉仕の実践」に重点を置いております。

この事は、南北戦争（奴隷解放）や独立戦争（大量の移民）によって表面化された多様性の受け入れ（包摂）が大きく影響しています。そしてその背景には、16世紀にニュージャージーに上陸した、アメリカにおけるプロテスタントやカトリックなどの諸派に対する宗教的寛容があります。もともとtoleranceは宗教の寛容を意味するものであります。

さらに、寄付を中心とするアメリカの「サービス」は、キリスト教の原罪に対する贖罪の念からスタートしており、その歴史は農耕民族で単一国家であった日本の歴史と大きく異なります。

日本の仏教を中心とする東洋思想は、基本的には「足るを知る」という極めて道徳的なものであり、蓄財を奨励して多くを寄付することを美徳としたキリスト教の概念とは異なります。

ロータリーの職業奉仕の理念（職業宣言）は、ご承知の通り、ロータリーの行動規範へと変化しました。

このようにRIにおいては、ロータリーの拡大と共に、職業奉仕は理念（行動規範）となり、職業奉仕活動は社会奉仕活動の一部になりました。

だからこそ、そこに決議23-34が必要になったのであります。

日本においては、職業奉仕はロータリー活動における精神的支柱であり、サービスの実践とは異なります。

# 1.委員会運営方針・事業計画

## 【職業奉仕の概念】（Vocational Service）

職業奉仕は、「ロータリーの目的」の第2項を土台として、ロータリアンは次のことを奨励し、育むことが求められています。

- ・ 職業上の高い倫理基準
- ・ 役立つ仕事はすべて価値あるものとする認識
- ・ 社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとする事

## 高潔性と倫理

ロータリーでは、高潔性と高い倫理を重視しています。その中で ロータリアンによって生みだされたのが、「四つのテスト」と「ロータリアンの行動規範」の2つであり、職場や生活のあらゆる 場面で倫理的行動を実践するための指針となっています。

### 職場で高い倫理基準を推進するために

事業や専門職務のリーダーであるロータリアンは、職場や地域社会において模範を示し、高い倫理基準を推進することのできる立場にあります。ロータリアンは、次のような方法で倫理を実践し、奨励できます。

- ・ 従業員の雇用、研修、指導において、誠意、責任、公平さ、尊重について説明し、その重要性を強調する。
- ・ 仕事仲間による模範的な行動を称え、奨励する。
- ・ 顧客、業者、仕事関係者と接する際は、高い倫理基準を遂行し、思いやりと熟慮をもって行動する。
- ・ ビジネスや組織において、社会的・環境的に責任ある慣行を推進する。

## スキルと職業

職業とそのスキルの重要性を認識するロータリーには、多様な職業や経験をもつ会員がおり、地域社会のさまざまな職業、ビジネス、団体とのつながりを生かした活動が実践されています。会員には、職業スキルを奉仕に生かし、自らの職業をクラブで代表するとともに、職場においてもロータリーの理念を実践する責務があります。

## 職業研修と職業スキルの向上

職業人同士の交流を目的として設立されたロータリーでは、より良い地域社会を築くために、職業やビジネスにおけるリーダーが力を合わせ、アイデアを交換し、協力関係を築くことの重要性を強調しています。ロータリー会員は、職業に関するスキル研修とサポートを人びとに提供することを通じて、自らの職業スキルの向上にも努めています。

RI「職業奉仕の手引き:実践しよう」255-JA-(1017)より抜粋

## 【活動方針】

2024-25年度 五十幡ガバナーは、5大地区活動方針の4項に「ロータリーの目的、四つのテスト、公式標語、行動規範、中核的価値観、行動計画(指針)に基づくロータリーの理念と取り組みの再確認」を掲げています。このことを踏まえて職業奉仕委員会は、「職業奉仕」に理解を深めていただくとともに、この4項を地区内の各クラブとクラブ会員に推進し実践に向けての支援を行って参ります。その結果、魅力ある、そして活力のあるクラブにしていただきたく思います。

## 【具体的事項】（各クラブへの推奨事項）

1. 「職業奉仕ラーニングツール」を各クラブでの研修、委員会での勉強資料、卓話に活用いただき、特に入会3年未満の会員等の研修を実施していただきたい。  
\* 「職業奉仕ラーニングツール」（職業奉仕入門、職業奉仕とは、ロータリーの職業奉仕知っておきたい四大用語）全3シリーズを2570地区HPの職業奉仕委員会に掲載してありますので、ダウンロードしてください。2024-25年度改訂版を予定しております。
2. 各クラブで「四つのテスト」の唱和と、それぞれの職場に掲示いただき実践することを推奨する。
3. 会長幹事会、IM等で「職業奉仕」への取り組み(実践)に関する情報交換の場を設ける。

## 2.職業奉仕月間の卓話支援

### ①クラブ活動支援

- ・各クラブにおける職業奉仕月間の卓話については、クラブ委員長自らが自クラブの会員に語りかけていただくことが重要であることをご理解いただいたうえで、卓話は原則として各クラブの職業奉仕委員長に実施していただきます。
- ・委員長自らの卓話に不安があるクラブについては、地区職業奉仕委員会より卓話者を派遣させていただきます。



## ②卓話モデルの作成 (2024-2025版でリニューアル予定です)

- ・卓話モデル1  
入会3年以内の方のための職業奉仕入門
- ・卓話モデル2  
職業奉仕とは
- ・卓話モデル3  
ロータリー職業奉仕  
知っておきたい四大用語

卓話モデルのパワーポイント・解説付きのデータが必要なクラブは、下記にご連絡ください。

地区職業奉仕委員会 副委員長 野溝 守 (川越RC)

社会福祉法人 崇徳会 理事長

TEL : 049-261-0700 携帯 : 090-3097-9707 メール : [mnomizo@sutokukai.jp](mailto:mnomizo@sutokukai.jp)